



テーマ展
「花博コレクション」
「斎藤宗次郎展」開催中

3/23から同時に

令和5年度テーマ展
花博
コレクション

2024
3/23(土)
▶ 5/6月

同時開催
斎藤宗次郎展

関連イベント
▼ギャラリートーク
日時: 3月23日(土) 13:30~
場所: 企画展示室 ※要入館料

HANAMAKICITYMUSEUM
花巻市博物館

(開館時間) 9:30~16:30
(入館料) 一般/350(200)円
高・学/250(200)円
小・中/150(100)円

〒025-0014 花巻市東和26-9-1 TEL: 0198-32-1030/FAX: 0198-32-1050

花巻市博物館は花巻の考古や歴史、美術工芸などをテーマとして、現在約4万点の資料を所蔵しています。本展では、生活の中で日常的に使用されてきたものや工芸品として鑑賞されてきたものの中から、学芸員が厳選した花巻の美術工芸や歴史資料について5つのカテゴリ（下記参照）に分けて展示しています。さらに、今回初公開となる宮澤賢治の直筆の「S博士に」の草稿も展示しています。

また、同時開催の「斎藤宗次郎展」では、本館所蔵のコレクションの中から、明治31年の日記「吾家（わがいえ）の歴史」の内容を関連資料と共に紹介しています。

☆花博コレクションのカテゴリの紹介（5つのコーナー）

- ①**陶磁器コーナー**…花巻の代表的な焼物を、パネルと資料で窯ごとに紹介します。本展では、鍛冶町焼、花巻焼、台焼などの花巻の代表的な焼物を展示しています。資料の形や釉薬による色合い、細かい絵が描かれている資料などをじっくり見ていただきたいです。
- ②**花巻の三画人コーナー**…江戸時代後期から明治にかけて活躍した「小野寺周徳」「八重樫豊澤」「橋本雪蕉」の3人の絵師について紹介します。この3人はそれぞれ画風も得意な絵の種類も違いますが、今回は動物を描いた絵や花鳥図、人物図を中心に展示します。
- ③**南部系こけしコーナー**…花巻や盛岡、宮古などで作られているものの中から4つの系統、12名の作者の作品を展示します。使用されている木材や描かれているものによって雰囲気が変わる、個性的なこけしを展示します。
- ④**花巻人形コーナー**…東北の三大土人形の1つである花巻人形のコーナーでは、内裏雛や縁起物、昔話や神話、動物などさまざまなモチーフの中から、今回は照井家が制作した雛人形を展示します。また、他の地域の土人形も一緒に展示します。花巻人形との相違点や類似点などを見つけながらお楽しみください。
- ⑤**里山の暮らしコーナー**…暮らしの中で工夫されたり使用されたりしてきた農具や民具などを紹介します。また、里山で暮らしていた人々とともにあった植物の押し花の展示や、農村の暮らしを描いた絵画の展示もあります。

出前授業の紹介

2月下旬に、八重畑小学校・花巻小学校・矢沢小学校の3校で、3年生の「昔の道具と暮らし」の出前授業が行われました。これまでの学校と同様に、どの小学校でも子ども達は意欲的で、多くのことに気付き、使い方を予想していました。

花巻小3年
2/27 火



八重畑小
3年
2/20 火



矢沢小3年
2/28 水



児童代表の感想（一部省略）

- ・昔から道具がいろいろ工夫されてきて作られていたのを知った。
- ・昔の人は、人のことなどを考えて、こうすればいいとかこうなればいいとか、いや違うとか直してみようとかいうことがどんどん出てきて、こんな風になってきたのが分かった。
- ・古いものを知って新しいものも知ることができたので、もっと古い物も調べてみたいと思った。

博学連携研究委員会を開催

令和5年度の第2回博学連携研究委員会が当館で開催され、5年度の報告と6年度の計画について話し合われました。9名の委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。そして1年間お疲れさまでした。

さて、今年度博物館では、「博物館の有効利用」に特化した研究を進めるため、博学連携事業の要項と内容を変更しています。20年前の開館以来の見直しなので非常に時間がかかっています。日程等が決まらず、各学校にご迷惑をおかけして本当に申し訳ありません。要項等は、完成次第各学校にお送りします。研究会では、見学と出前授業の改善点や連携方法等について意見を交流する予定です。6年度もどうかご協力をお願いいたします。



2/19（月）研究委員会の様子

開館20周年記念特別展「アニメージュとジブリ展」花巻市博物館展のお知らせ

期間：7月20日（土）～9月23日（月振）

概要：雑誌「アニメージュ」の、1978年創刊当時から80年代に焦点をあてながら、スタジオジブリの歴史を振り返ります。豊富な誌面展示とジブリ作品の貴重な制作資料などを紹介する予定です。

一年間「ふくろう」をお読みいただきありがとうございました。令和6年度も、連携につながる内容を分かりやすく伝えることを目指します。6年度もよろしくをお願いいたします。



©2023 - Hayao Miyazaki - Kanyada Phatan